

事務事業名		防災関係事業		<input type="checkbox"/> 実施計画掲載事業		<input type="checkbox"/> 総合戦略掲載事業	
政策体系	政策名	0 5 やすらぎある安全なまちづくりの推進		事業期間		予算科目	
	施策名	1 7 自然災害対策の推進		区分		会計	款 項 目 事業
	基本事業名	0 2 地域防災体制の強化		単年度繰返		01	09 01 05 0100
根拠法令		災害対策基本法		※期間欄に開始年度を記入			
所属	部課名	総務部防災管理室		【開始年度】		事務事業区分	
	課長名	伊藤 晴喜		-		A 政策事業	
	係名	-		-			
	担当者	佐藤 誠	電話	0192-27-3111	内線		239
事務事業の概要(具体的なやり方、手順、詳細。期間限定複数年度事業は全体像を記述)						全体計画(※期間限定複数年度のみ)	
市の防災対策の充実・強化を図るため、必要に応じて、市地域防災計画の修正、各種災害対応マニュアルの修正等、防災体制の整備や市民の防災意識の高揚を図るための事業を行う。また、武力攻撃事態等における国民の保護のための措置に関する法律に基づき、国民保護計画を策定し、武力攻撃事態が発生した場合における速やかな避難措置を講ずる体制の構築を行う。主な事業は、市地域防災計画等の修正、災害用備蓄品の整備、避難誘導標識等の設置、防災訓練の実施、東日本大震災犠牲者追悼式の開催、防災学習ネットワークの運営など						総投入量(千円)	
						事業費	国庫支出金
						財源内訳	都道府県支出金
							地方債
							その他
							一般財源
							事業費計(A)
						人件費	0
							正規職員従事人数
							延べ業務時間
							人件費計(B)
							0
							トータルコスト(A)+(B)
							0

1 現状把握の部(DO)

(1) 事務事業の目的と指標

① 手段(主な活動)		⑤ 活動指標(事務事業の活動量を表す指標)	
前年度実績(前年度に行った主な活動)		名称	
地域防災計画の修正、災害用備蓄品の整備、津波ハザードマップの更新、防災学習ネットワークの運営、防災訓練の実施、祈りのモニュメントの整備、追悼式の開催、自然災害被災地支援		ア	防災訓練回数
			単位
			回
今年度計画(今年度に計画している主な活動)		イ	災害用備蓄品の個数(毛布)
地域防災計画の修正、災害用備蓄品の整備、防災学習ネットワークの運営、防災訓練の実施、追悼行事の実施、津波避難対策検討会議の開催、自然災害被災地支援		ウ	
			枚
② 対象(誰、何を対象にしているのか) * 人や自然資源等		⑥ 対象指標(対象の大きさを表す指標)	
市民		名称	
		カ	市民
			単位
			人
③ 意図(この事業によって、対象をどう変えるのか)		⑦ 成果指標(対象における意図の達成度を表す指標)	
防災意識の向上を図り、防災・減災体制の強化につなげる。		名称	
		ク	
			単位
④ 結果(基本事業の意図:上位の基本事業にどのように貢献するのか)		サ	防災訓練参加者数
災害時に適切な対応ができる体制を整え、被害を最小限に抑える。			人
		シ	災害用備蓄品の累計整備個数(毛布)
			枚
		ス	

(2) 総事業費・指標等の推移

投入量	事業費	財源内訳	単位	年度						
				2年度(実績)	3年度(実績)	4年度(実績)	5年度(実績)	6年度(目標)	7年度(目標)	
投入量	事業費	国庫支出金	千円	0	9,717	0	0	0	0	0
		都道府県支出金	千円	0	0	0	0	0	0	
		地方債	千円	0	0	0	0	6,700	13,800	
		その他	千円	444	43,088	6,952	34,879	1,001	0	
		一般財源	千円	10,774	14,369	7,423	7,356	3,958	13,000	
	事業費計(A)			千円	11,218	67,174	14,375	42,235	11,659	26,800
	人件費	正規職員従事人数	人	3	3	3	3	3	3	3
		延べ業務時間	時間	2,000	2,000	2,000	2,000	2,000	2,000	
		人件費計(B)	千円	8,000	8,000	8,000	8,000	8,000	8,000	
		トータルコスト(A)+(B)			千円	19,218	75,174	22,375	50,235	19,659
⑤活動指標		ア	回	1	1	1	1	1	1	
		イ	枚	0	0	0	0	0	0	
		ウ								
⑥対象指標		カ	人	34796	34224	34128	32,784	31,992	32,485	
		キ								
		ク								
⑦成果指標		サ	人	4,539	4,772	5,601	5,910	5,000	5,000	
		シ	枚	1,970	1,970	1,970	1,970	1,970	1,970	
		ス								

事務事業ID	1246	事務事業名	防災関係事業
--------	------	-------	--------

(3) 事務事業の環境変化・住民意見等	
① この事務事業を開始したきっかけは何か？いつ頃どんな経緯で開始されたのか？	災害対策基本法に規定する市の責務である。
② 事務事業を取り巻く状況(対象者や根拠法令等)は、開始時期あるいは前期基本計画策定時と比べてどう変わったのか？	平成23年3月11日に発生した東日本大震災では、未曾有の被害を受けたところであり、災害対応についても様々な課題が浮き彫りとなった。東日本大震災の教訓や全国的に発生している自然災害の教訓を今後に生かし、今後の防災対策を充実・強化するため、法律改正や防災基本計画の修正が行われている。
③ この事務事業に対して関係者(住民、議会、事業対象者、利害関係者等)からどんな意見や要望が寄せられているか？	市民や議会から、防災・減災に向けた備えと、多重防災の考え方に基づくハード・ソフト事業の確実な実施を求められている。

2 評価の部(SEE) * 原則は事後評価、ただし複数年度事業は途中評価

目的 妥当性 評価	① 政策体系との整合性	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある <input checked="" type="checkbox"/> 結びついている ▽ 理由・内容 この事務事業の目的は当市の政策体系に結びつくか？意図することが結果に結びついているか？ 地域防災計画や国民保護計画の策定は市の責務であり、防災管理意識の向上を図る観点から欠くことができないものである。
	② 公共関与の妥当性	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある <input checked="" type="checkbox"/> 妥当である ▽ 理由・内容 なぜこの事業を当市が行わなければならないのか？税金を投入して、達成する目的か？ 災害対策基本法及び国民保護法に規定する市の責務である。
	③ 対象・意図の妥当性	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある <input checked="" type="checkbox"/> 適切である ▽ 理由・内容 対象を限定・追加すべきか？意図を限定・拡充すべきか？ 市民の防災意識の高揚を図るための事業であり、妥当である。
有効性 評価	④ 成果の向上余地	<input checked="" type="checkbox"/> 向上余地がある <input type="checkbox"/> 向上余地がない ▽ 理由・内容 成果を向上させる余地はあるか？成果の現状水準とあるべき水準との差異はないか？何が原因で成果向上が期待できないのか？ 市民の防災意識の高揚を図るために、継続して様々なソフト事業を実施していく必要がある。
	⑤ 廃止・休止の成果への影響	<input type="checkbox"/> 影響がない <input checked="" type="checkbox"/> 影響がある ▽ 理由・内容 事務事業を廃止・休止した場合の影響の有無とその内容は？ 市の責務であり廃止・休止は考えられない。
効率性 評価	⑥ 事業費の削減余地	<input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がある <input type="checkbox"/> 削減余地がない ▽ 理由・内容 成果を下げずに事業費を削減できないか？(仕様や工法の適正化、住民の協力など) ソフト事業のうち、可能なものは関連団体等へ委託する。
	⑦ 人件費(延べ業務時間)の削減余地	<input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がある <input type="checkbox"/> 削減余地がない ▽ 理由・内容 やり方を工夫して延べ業務時間を削減できないか？成果を下げずにより正職員以外の職員や委託できないか？(アウトソーシングなど) ソフト事業のうち、可能なものは関連団体等へ委託する。
公平性 評価	⑧ 受益機会・費用負担の適正化余地	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある <input checked="" type="checkbox"/> 公平・公正である ▽ 理由・内容 事業の内容が一部の受益者に偏っていて不公平ではないか？受益者負担が公平・公正になっているか？ 市民及び国民を対象としたものであり、公平・公正である。

3 今後の方向性(次年度計画と予算への反映)(PLAN)

(1) 改革改善の方向性	(2) 改革・改善による期待成果	(3) 改革改善を実現する上で解決すべき課題とその解決策又は特記事項等																					
1 現状維持	<table border="1"> <tr> <td colspan="2" rowspan="2"></td> <th colspan="3">コスト</th> </tr> <tr> <th>削減</th> <th>維持</th> <th>増加</th> </tr> <tr> <th rowspan="3">成果</th> <th>向上</th> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <th>維持</th> <td></td> <td>●</td> <td>×</td> </tr> <tr> <th>低下</th> <td></td> <td>×</td> <td>×</td> </tr> </table>			コスト			削減	維持	増加	成果	向上				維持		●	×	低下		×	×	委託先の候補となる関係団体においては、必要な体制の確保が困難な場合が多い。
				コスト																			
		削減	維持	増加																			
成果	向上																						
	維持		●	×																			
	低下		×	×																			
※(1)改革改善を実施した場合に期待できる成果について該当欄に「●」を記入。 (現状維持の場合、コスト及び成果は「維持」) (終了・廃止・休止の場合は記入不要)																							

4 課長等意見

(1) 今後の方向性	(2) 全体総括・今後の改革改善の内容
2 改革改善(縮小・統合含む)	頻発化・激甚化する災害の発生に備え、関係機関と連携した自助・共助・公助による防災体制の充実・強化に向け、計画的な事業展開を行う。防災学習ネットワークによる津波伝承・防災学習の推進を図ると共に外部への委託に向け、候補となる関係団体と協議を行う。また、整備された折りのモニュメント活用したソフト事業の検討を行う。